1918

シリーズ
とやま20世紀

大正7年7月23日(火)

魚津の海岸に漁民の主婦たちが集合。米騒動の始まり。

この年、シベリア出兵計画が発表されると、買い占めの動きから米の値段が急騰、その影響は米産地の富山県にも及んだ。7月23日の朝、他の地方への移出が米価急騰の原因であると考えた魚津の漁民の主婦約60人は海岸に集結、汽船への米の積み込みを中止させた。同様の騒ぎは県東部各地で発生し、これらが新聞で報じられると「米騒動」として全国に拡大した。当時の寺内正毅(まさたけ)内閣は軍隊を出動させてこれを鎮圧したが、責任をとって9月21日に総辞職。〈平民宰相〉原敬(たかし)を首班とする初の政党内閣が成立した。おかみさん達の怒りから始まったこの事件は、全国を揺り動かし、政党政治成立のきっかけとなったのである。

米騒動発祥の地、旧十二銀行倉庫